

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2023年6月16日

1. アメリカ国民の新型コロナ抗体陽性率および感染率：2021年4月から2022年9月の献血者提供血清解析
2. 日本人の自然感染率

【松崎雑感】

「アメリカ7割、日本4割」が新型コロナ自然感染率です。ワクチン免疫を加えると、アメリカも日本も大部分の人々は、新型コロナにある程度の免疫を持っていることになるでしょう。パンデミック当初の死亡率数%と言う厳しい毒性が二桁ほど低下したという「自然実験」のおかげで、新型コロナは若く健康な人々には、「ただの風邪」と見えるかもしれませんが、インフルエンザと違い、若い人々も含めて、感染者の1割前後が、長期間の体調不良に悩まされる（ロングコロナ）ため、人類全体にとっては「ただの風邪」と片づけるわけにはいかない問題をはらんでいます。

アメリカ国民の新型コロナ抗体陽性率および感染率：2021年4月から2022年9月の献血者提供血清解析

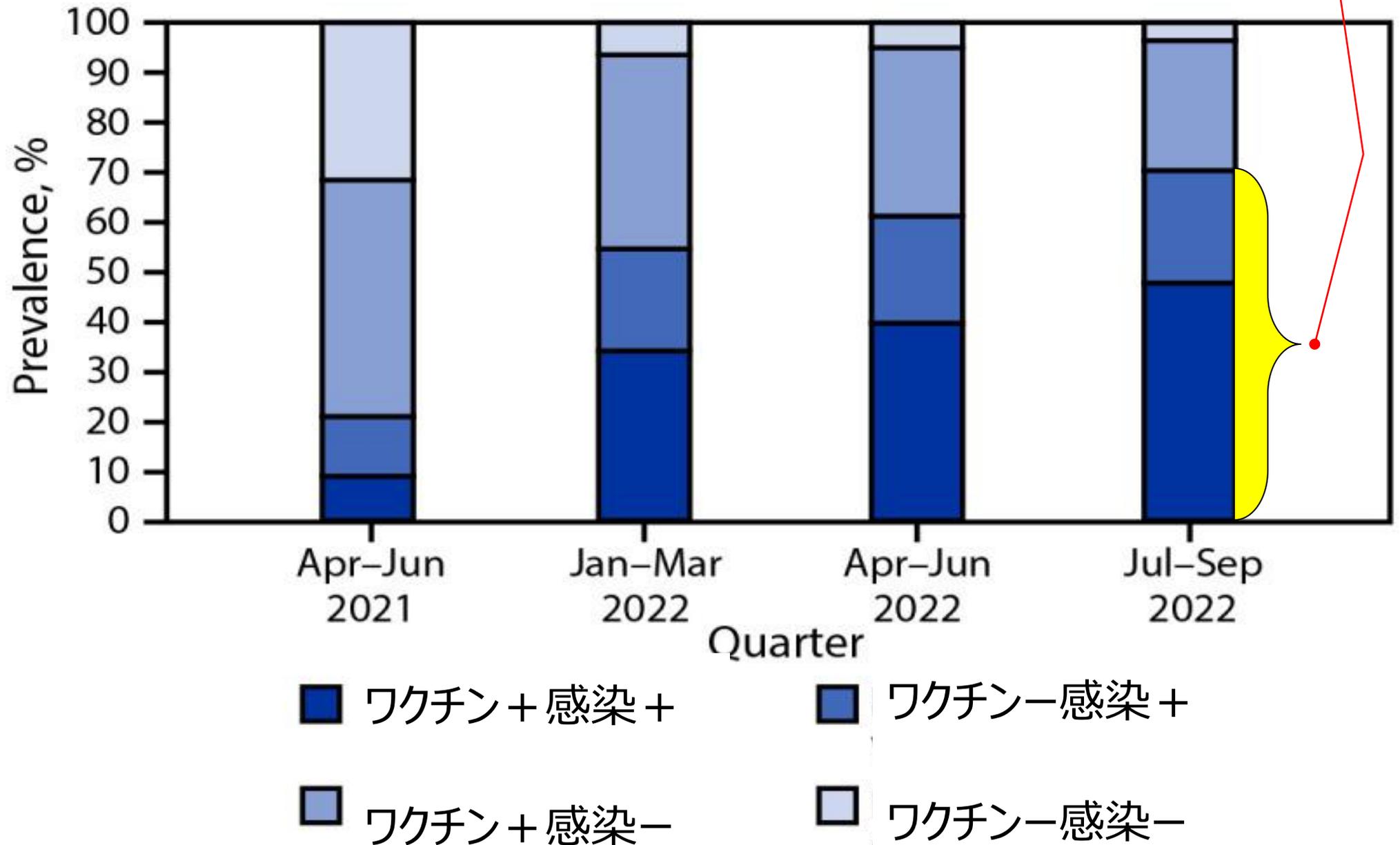
Jones JM, Manrique IM, Stone MS, et al. **Estimates of SARS-CoV-2 Seroprevalence and Incidence of Primary SARS-CoV-2 Infections Among Blood Donors, by COVID-19 Vaccination Status - United States, April 2021-September 2022.** *MMWR Morb Mortal Wkly Rep.* 2023;72(22):601-605. Published 2023 Jun 2. doi:10.15585/mmwr.mm7222a3

米国の献血提供者の血清を対象として、新型コロナのS抗体（自然感染でもワクチン接種でも陽性となる）とN抗体（自然感染のみで陽性となる）を測定した結果、2022年9月までに、アメリカ国民の96.4%が自然感染あるいはワクチン接種により新型コロナ抗体陽性となった。

<内訳> 自然感染のみで22.6%、ワクチン接種のみで26.1%が陽性となった。自然感染＋ワクチン接種（ハイブリッド免疫）で47.7%。

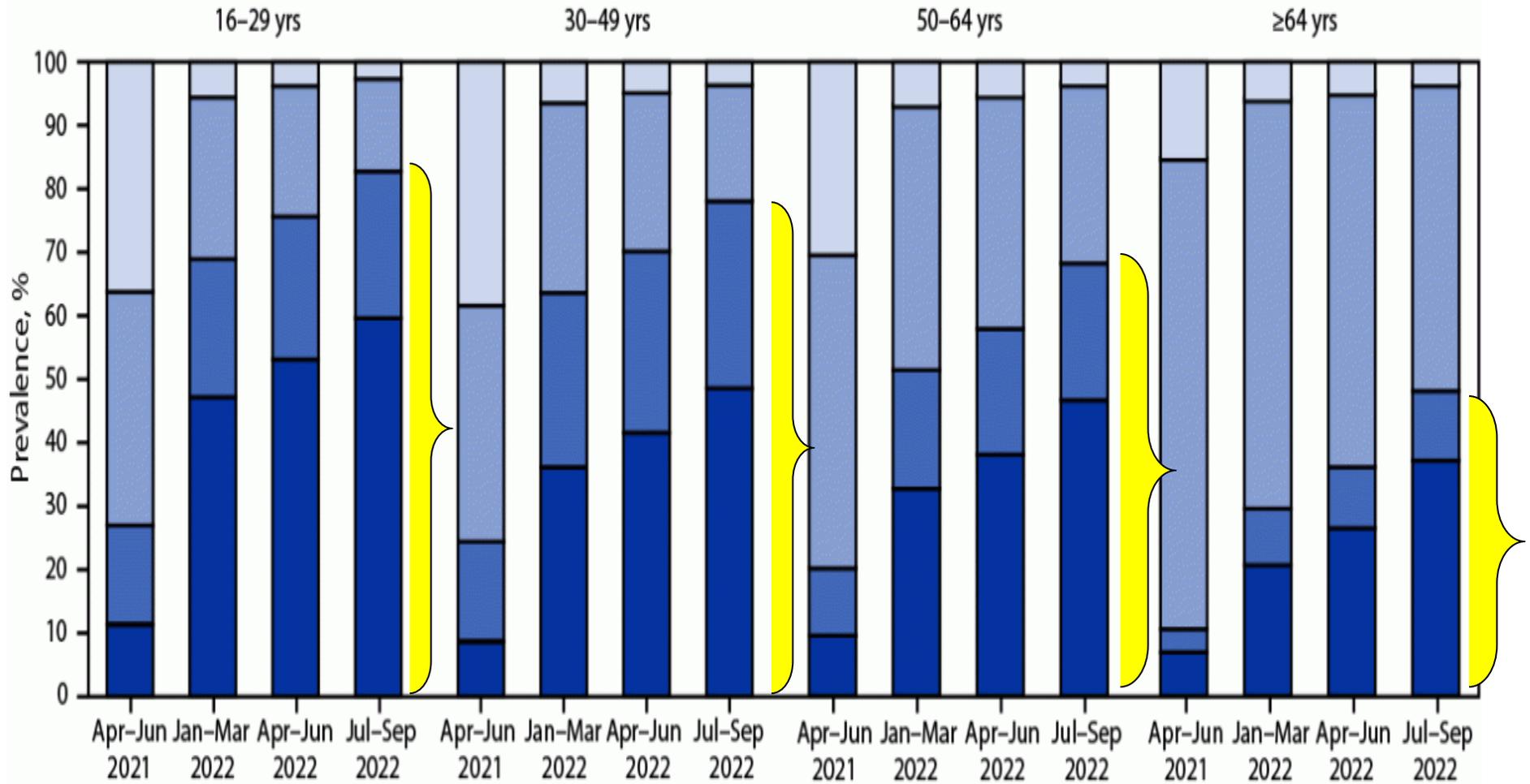
したがって、米国の**自然感染者はおよそ70%となる**。64才以上の人々は、他の年齢層よりも明らかに自然感染者が少なかった。

S抗体とN抗体陽性率に基づく自然感染免疫、ワクチン免疫の有無別抗体陽性頻度：**2022年9月までに感染者が7割となった**



年齢層別：64才以上群で、自然感染率が他の年令層より大きく低下していた

感染防止対策の効果と考えられる（黄色ハイライト部分）



■ 感染+ワクチン+ ■ 感染+ワクチン-

■ 感染-ワクチン+ ■ 感染-ワクチン-

日本でも4割の人がすでにコロナに感染 抗体調査から分かることは？国内でもコロナは広がりにくくなる？(忽那賢志) - 個人 - Yahoo!ニュース

2023年2月に日本赤十字社で献血した16歳～69歳の13,121名のN抗体陽性率は42.3%。米国の半年前の陽性率は7割台であり、日本では、人口の半数が未感染であることがわかる。高齢者に自然感染が少ないのは米国と同じ傾向。

